

# 広島大学大学祭への参加企画報告書

技術センター(フィールド系科学部門生物生産技術班)

竹田 重寿

1. 事業名 農場祭(学部公開)
2. 実施日時 平成20年11月2日(日曜日)  
天候(晴れ時々曇り)
3. 実施場所 大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター  
西条ステーション(農場)

4. 来訪者数 約2000名

5. 技術職員参加メンバー

窪田 山城 東脇 竹田 積山 北村

6. 企画事項

- ・搾乳体験コーナー

担当 窪田 竹田 積山

目的 乳牛の手絞り体験を通して食糧生産の重要性を学ぶ

実施内容 事前説明を行った後、手搾り体験をさせた。また、体験後には、牛乳の試飲とアンケート調査をした。午後の部は、受講希望者数が非常に多かったため、30人まで受付けた。

- ・ふれあい動物コーナー

担当 山城 北村

目的 家畜にふれあうことで、命の大切さを学ばせる

実施内容 10時30分～15時までに、約536名が入場した。山羊及び羊は柵の中に入れ、柵の中で触れてもらった。ブタは、柵の外から観察とした。柵に入る前に靴の裏を消毒する場

所を設けた。家畜に触れた後に、アルコールの入ったウェットティッシュで手を拭いてもらった。最後にアンケート調査をおこなった。

- ・燻製体験コーナー

担当 東脇

目的 体験をとおして家庭で出来る燻製作りを伝えたい

実施内容 午前と午後の2回に分けて実施した。受講者数は31名だった。資料配布を行い説明した。ササミにオイルを塗ってもらい燻製機に入れた。その後、出来上がった燻製品を試食し、燻製作成の資料を配布しアンケート記入を行った。

7. まとめ

アンケート調査等から大変好評だった。次回の課題として個別に、搾乳体験は待ち時間が長くなり行列が出来てしまった。原因は、搾乳牛を1頭しか用意出来なかったためである。ふれあい動物コーナーは、今回600名近くの方が入場されて混雑になったので、受付場所を考える。燻製体験では、燻製する材料の種類を増やすこと及びその工程等も考える。このように、さまざまな課題が見つかったので、次回検討したい。

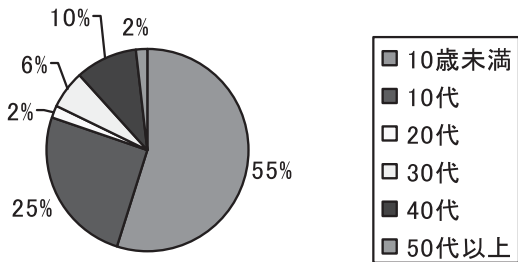
8. 添付資料

- ・アンケート調査結果
- ・写真

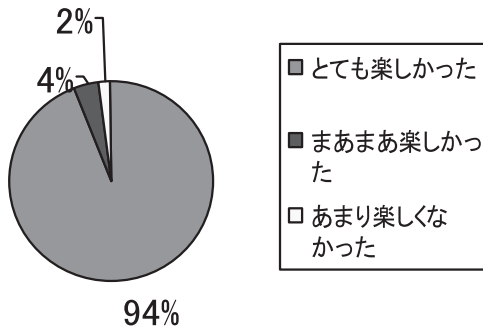
## アンケート調査結果

### 搾乳体験

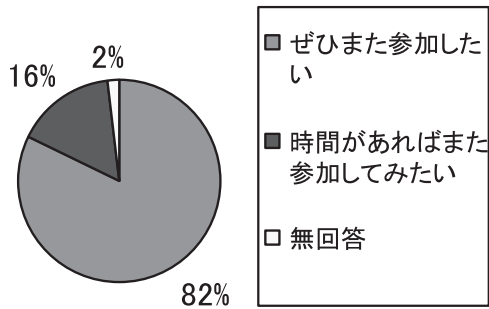
年代別受講者



搾乳体験はいかがでしたか？



来年も搾乳体験に参加されますか？

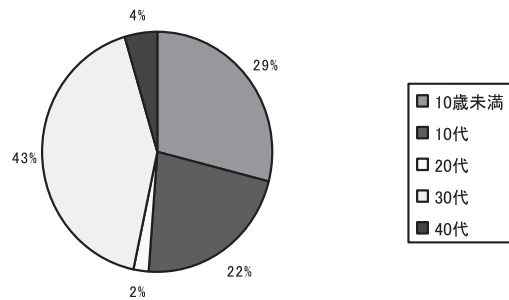


### 感想

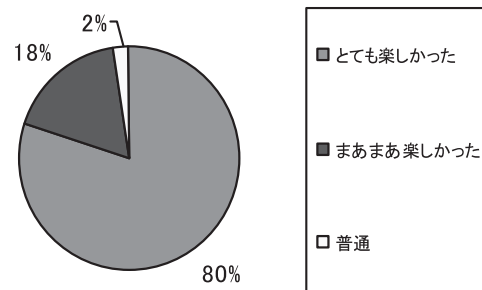
- ・お乳が温かった.....10名
- ・初めての体験で楽しかった.....10名
- ・お乳がたくさん出た.....9名
- ・思ったよりも上手にできた.....3名
- ・牛が可愛かった ・また体験したい ・親切に教えてもらった ・上手にできなかった
- ・牛乳がとても美味しかった ・毎年あったら嬉しい ・時間待ちが多かった

### ふれあい動物コーナー

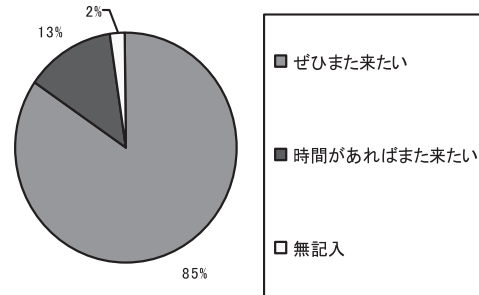
年代別入場者



ふれあい動物はいかがでしたか？



来年もふれあい動物に来たいですか？

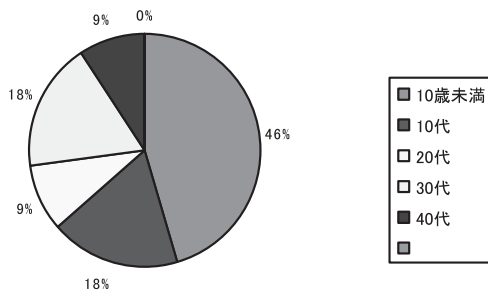


### 感想

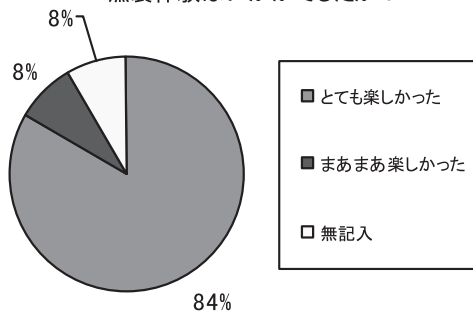
- ・動物に触れあえたから.....20名
- ・かわいかった.....8名
- ・餌をやりたかった.....3名
- ・たくさんの動物に触れ合いたかった.....3名
- ・豚に触りたかった ・もっとPRして欲しい
- ・豚について勉強になった

## 燻製体験

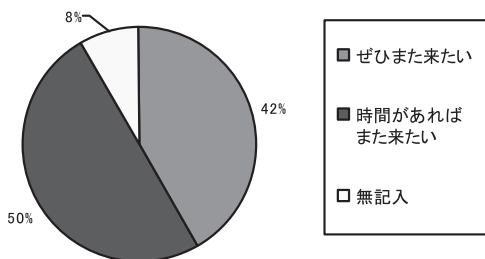
年代別受講者



燻製体験はいかがでしたか？



来年も燻製体験に参加されますか？



## 感想

・もう少し体験内容を増やして欲しい  
 ・かんたんでした  
 ・貴重な体験が出来た  
 ・仕上げだけではなく、他の過程も体験したい  
 ・すごく美味しかった  
 ・他の物も燻製してみたい  
 (ベーコンなど)

## 写真



搾乳体験の受講者



搾乳体験の様子



燻製作りの説明



燻製のオイル塗り



動物とふれあう親子



ふれあい動物コーナ受付